企業版ふるさと納税寄附企業のご紹介

いちご市営業戦略課魅力創出係　☎(63)2219

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）は国が認定した地方公共団体の地方創生の取り組みに対し、企業が寄附対象の事業を選択し寄附を行う制度で、鹿沼市は６事業の認定を受けています。

今年度、企業版ふるさと納税を活用し、デクセリアルズ㈱から「稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする」ための事業、帝国繊維㈱から「出会い・出産・子育ての希望をかなえる」ための事業に対し、寄附をいただきました。

鹿沼市に事業所を置く２つの企業が、日頃どのような取り組みをしているのかご紹介します。

デクセリアルズ株式会社

デクセリアルズ株式会社は、スマートフォンやノートパソコンをはじめとするエレクトロニクス機器、電装化が進む自動車に欠かせない電子部品、接合材料や光学材料など機能性材料の開発・製造・販売を手掛けています。

鹿沼市内に、鹿沼事業所として第１工場と第２工場の２拠点を構えており、第２工場では主力製品の生産拡大のため、２０２４年９月に新しい工場建設に取り掛かり、２０２６年度中の稼働を目指しています。

新工場は、スマートファクトリー化の実現や、稼働中に二酸化炭素を排出しない建物となる予定です。また、非常時にも業務を継続できるよう、電気と熱を同時に作るシステムを導入し、サステナブルな工場にするための準備を進めています。

▲９月10日　感謝状贈呈式

デクセリアルズ株式会社は、変化する社会・環境において、経営理念である「Integrity 誠心誠意・真摯であれ」という姿勢を貫きながら、社会課題の解決を支えるために、デジタル・テクノロジーの進化に欠かせない高付加価値の製品や技術、ソリューションを提供し、持続可能な社会の実現を目指しています。

▲鹿沼事業所新工場完成イメージ

帝国繊維株式会社

帝国繊維株式会社の鹿沼工場は、１８８８年下野麻紡織会社として現在の地でスタートしました。その後、１９０７年全国的な麻事業の統合のため、鹿沼工場は、日本屈指の総合防災企業である帝国繊維株式会社に吸収合併され、今年で創立１１７年を迎えます。

業界ナンバー１の地位を誇る消防ホースや防災資機材、消防車輌、防火衣等特殊被服の防災４事業のほか、麻繊維（リネン）、特殊機能繊維製品などの繊維事業を通し、今日に至るまで社会の安全・安心の向上、良質な生活文化の向上に大きく貢献しています。

大規模自然災害の脅威が増大する状況にあって、今まさに国をあげての備えの強化が喫緊の課題であり、防災インフラの老朽化とも相まって、社会や環境のサスティナビリティが問われています。そのような中、帝国繊維株式会社グループは、２０２３年度より「テイセン未来創造計画」をスタートさせ、第１フェーズを「テイセン２０２５／未来への基盤作り」と位置付け、《先進的防災事業を確立・発展させ多発化・激甚化・多様化する各種災害の脅威から社会や事業の安心・安全を守る》を旗印に、グループ一丸となって取り組んでいます。

▲鹿沼工場で製造する消防用ホース

▲10月25日　感謝状贈呈式